

『令和4年度 郷土づくりシンポジウム』を開催しました。 －「くらしを守る流域治水とは」－

主催：（一社）鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学
後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所
鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部
（一社）日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会

平成24年10月、「東日本大震災の教訓・・・これからの郷土づくり」と題して郷土づくりシンポジウムを開催してから、第11回のシンポジウムの開催となりました。

今回は、近年の水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、災害から身を守る対策として、私たちのくらしを守る流域治水の政策や制度、取組を学び、流域治水に関わるものとしての役割・責任・自覚を認識するため、また、測量設計業を含む建設業界の役割の大きさを情報発信するため、国土交通省、鳥取県、国立大学法人鳥取大学、公立鳥取環境大学等と連携するとともに、「鳥取県建設業魅力発信事業」としてこのシンポジウムを開催しました。

このシンポジウムをとおり、流域治水について改めて考えるとともに、一般の方をはじめ大学生の方にも参加いただきながら、県内高校等へ出前講座開催・Web配信等を実施し、業界への認識と就労意欲の喚起を図りました。

当日は、第1部として鳥取工業高校、産業人材育成センター倉吉校、倉吉農業高校の生徒の皆さんへの出前講座を開催・配信、米子工業高校の出前講座の録画を放映しました。第2部では、「くらしを守る流域治水とは」と題し、5名の方に報告・ご講演いただきました。

会場・Web含め195名の多くの方に参加していただき、盛会裡に終了しました。

この会の開催に当たり、講師の方々にはお忙しい中有難うございました。

シンポジウムの様子



【開会挨拶 会長 澤 克生】



【来賓挨拶
国土交通省中国地方整備局
倉吉河川国道事務所所長 藤原 年生 氏】

日 時 2022年10月26日(水)

13:00~16:30

場 所 倉吉未来中心 小ホール



【来賓挨拶 鳥取県県土整備部
部長 蒲原 潤一 氏】

【第1部】 「建設コンサルタントの役割と魅力」

「 出前講座 」

東・中・西部の高校での出前講座の概要

	東 部	中 部	西 部
実施日	10月26日(水)	10月26日(水)	10月19日(水)
対 象	鳥取工業高校（2年生）	倉吉農業高校（1年生） 産業人材育成センター	米子工業高校（2年生）
講 師	アサヒコンサルタント㈱ 藤ウエスコ	株ジーアイシー	シンワ技研コンサルタント㈱
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■建設コンサルタントの役割と魅力 ・県内の測量・設計の業務内容 ■若手社員からの魅力発信1、2 ・設計・測量等の仕事内容(1週間予定等) ■技術進歩した3次元計測技術 ・三次元計測機器(ドローン、グリーンレーザー、マルチビーム) ・三次元測量と従来測量の違い ・今後の測量 	<ul style="list-style-type: none"> ■趣旨説明 ■ドローンの活用事例紹介 ・ドローンによる測量動画 ・令和3年7月7日災害対応動画 ■ドローン実機による飛行演習 ■ミニドローンによる飛行体験 	<ul style="list-style-type: none"> ■私たちの仕事は ・卒業生からのメッセージ ■体験授業① ・デジタルカメラによる3次元計測 ■体験授業② ・UAV（ドローン）レーザースキャナ のデモンストレーション ■体験授業①の成果の確認



鳥取工業高校（2年生）



倉吉農業高校（1年生）
産業人材育成センター倉吉校



米子工業高校（2年生）

【第2部】 「暮らしを守る流域治水とは」

* 「新潟県信濃川大河津分水路」現地研修報告



【 鳥取県測量設計業協会
総務副委員長 西村和政 】

* 「流域治水とは」



【 鳥取大学学術研究院工学系部門
教授 三輪 浩氏 】

* 「国における流域治水の取り組み」



【 鳥取河川国道事務所
副所長 村上 友章氏 】

* 「県における流域治水の取り組み」



【 鳥取県県土整備部
部長 蒲原 潤一氏 】

* 「県における流域治水の取り組み」



【 鳥取県農林水産部
部長 西尾 博之氏 】



【 司 会
鳥取県測量設計業協会
総務委員長 大西 幸人 】



【 シンポジウムの様子 】